

教育目標 「やさしく かしく たくましく」

杉の子

No. 10

2023（令和5）年度

馬路小学校学校通信

12月25日（月）



12/12 全校しっぽとり

2学期終了

長かった2学期が終了しました。この2学期には運動会、おしどりマラソンの鼓笛隊、県展への作品作り、社会科見学、中芸地区連合音楽会等本当にたくさんの行事がありました。2学期の学習面・生活面の頑張りを褒めていただき、できていないことは冬休みや3学期への課題として取り組むように声かけしていただければ幸いです。

2学期を無事に終わることができたのも、保護者の方や地域、関係者の皆様は教育活動にご理解とご支援をいただいた結果だと感謝しております。来年も、今年と変わらぬご協力をよろしくお願いします。

明日から冬休みに入ります。特に忙しい年末は、家族の一員として大掃除などで貴重な働き手となるよい機会です。できることを見つけてやらせてあげてください。年末年始は、たくさんの人と出会う場面が多いと思います。礼儀、挨拶、言葉遣い等を大切に、人との関わり方などの社会体験を積んでほしいと思います。

子ども達にとって有意義な冬休みとなるよう願っています。1月9日の始業式には、元気な子どもたちの笑顔に会えることを楽しみにしています。



舞い上がれ！思いを乗せて

人権に関する知識理解を深めるとともに、豊かな人権感覚の育成を目指し、「人権を大切にする風船の便りで結ぶ集い」を行いました。

体育館で実施したセレモニーでは、2名の代表者が下記の人権標語を発表しました。その後

人 KEN まもる君とあゆみちゃんによる人権に関するトークがあり、人権宣言がなされました。

最後に全校で取り組んだ人権標語と手紙が付いた風船を一斉に大空に飛ばしました。聞くところによると、30年ほど前に馬路村で実施した際には和歌山県から返事が届いたそうです。1通でも返事があれば嬉しいです。

【標語コンテスト入選作品】

「気づいてよ 泣いてるあの子 その気持ち」

4年 ◇◇ ◇◇

「手をつなぎ みんなでつくろう 平和の輪」

6年 ○○ ○○





JICA訪問



日本のへき地教育の取組や制度設備、授業改善について学び、それらを応用することで開発途上国のへき地教育問題の解決に貢献することを目的に、JICAが本校に見学に来ました。イラク、サモア等11カ国から、へき地教育担当部署の行政官や専門職、へき地教育を実施している学校の校長が参加されていました。皆さん熱心に授業風景を撮影したり、通訳の方に質問されたりしていました。

児童からの「各国のお金を見せて欲しい」という要望を快く承諾して下さり、何とプレゼントして頂きました。また、先日、直筆でのお礼の色紙が届きました。校長室前に掲示していますので、ぜひ、来校時にご覧下さい。

「第69回 読書感想文コンクール」入賞

郡入選

(敬称略)

郡佳作

おめでとうございます!



3学期始業



1月9日(火) 8:15 登校 給食開始

8:30 始業式 下校: 1~3年生 15:00

4~6年生 15:50

※ 雑巾を1枚持たせてください。

高知新聞お正月紙面「輝け！高知の笑顔」に応募しています！！

令和6年1月1日以降、高知新聞のお正月特集の紙面に本校の児童の写真が掲載されます。「2024年の目標」「私の夢」「私の宝物」のうち、一つを書いた紙をもって、今年も緑色の背景に柚のワンポイントのイラスト前で撮影をしました。「ウォーリーをさがせ！」の如く、ご家族で馬路小29名の児童を探してみてください。

年度当初に実施した道徳意識調査では「将来の夢や目標をもっている」と全児童が回答していました。お子さんの将来の夢や目標についても聞いてみてはいかがでしょうか。



「まじもじクイズ12月号」当選者発表

たくさんの返信ありがとうございました！！

今回のまじもじクイズの答えは、

①紅白対抗リレー②カブトムシ③南国ファクトリー④ドングリや木の実⑤4班 でした。

当選者は、

でした。

3人には、図書券500円分をプレゼントしました！

それでは、感想を紹介します。

- ◇ 2学期1番の行事の運動会では、赤組も白組も係の仕事も助け合いながら頑張っていました。しかも、みんながみんなをほめ合えて笑顔の運動会になり、とても楽しかったです。
- ◇ 色々な行事のことを書いていて、とてもおもしろかったです。
- ◇ 色々な思い出が思い浮かんで、また、みんなで運動会や川に行きたいなと思いました。
- ◇ 学Pでは、各学年が楽しい夏の思い出を作ったんだと思った。
- ◇ インドネシアのことが分かったから、もっと知りたいです。
- ◇ 1日先生で、1年生から6年生が何をやっているのかを知れてよかったです。私は2年生の絞り染めをやってみたいと思いました。
- ◇ 私はたくさん写真があっぴょくりました。
- ◇ 1年から中2までの学P行事が全部楽しそうだった。みんなの楽しんでいる姿がのせられていて、見やすかったし、おもしろかった。
- ◇ 運動会のことを振り返られたし、他の学年の学Pが楽しそうで、行ってみたいくなりました。
- ◇ 私も小6年生が行った食品サンプル展に行ってみたいなあとと思いました。

昔の人の言葉に学ぼう

『ことわざ』って何だろう？

「ことわざ」とは、昔の人々の生活の中から生まれ、いろいろな教えや生活の知恵などを短く言い表した言葉のことです。

「玉みがかざれば光なし」

どんなに能力や才能があったとしても、それをみがぐ努力をしなければ、持っている力を発揮することはできないということ。

「縁の下の方持ち」

人目につかないところで、人のために力をつくすこと。また、つくす人のこと。

「好きこそ物の上手なれ」

自分の好きなことは、だれにいわれなくてもどんどん熱心にするので、上達するものということ。

「光陰矢のごとし」

月日が過ぎる早さは、飛ぶ矢の速さのようだということから、時がたつのはひじょうに早いというたとえ。

「後悔先に立たず」

いくら後悔しても過ぎたことはとり返しがつかない、なにかをする前に、十分に考えて行動しなさいというたとえ。

「三人寄れば文殊の知恵」

ふつうの人でも三人も集まって相談すれば、文殊さまのようなすぐれた知恵で、すばらしい考えがうかぶものだということ。

「失敗は成功のもと」

失敗しても反省して直していけば、そのうち成功するものである。失敗は成功をうみだす力になるというはげましの言葉。

「備えあれば憂いなし」

日ごろからあわてないように準備しておけば、なにかが起ころっても、まったく心配がないということ。

「情けは人のためならず」

人に対して親切にすることというのは、その人のためになるだけではなく、自分にもよい結果となって返ってくるということ。

「ことわざ」の短い言葉の中に、しっかりとストーリーがあり、さらに人々がよりよく生きていくためのヒントがたくさんふくまれています。

ほかにも、あなたの心に響く「ことわざ」をさがしてみよう。

	自分が調べた『ことわざ』	『ことわざ』から感じたことや考えたこと
月 日		
月 日		
月 日		



よいお年をお迎えください。